

平成22年度 予算対比表

款 項 目	22年度予算額	21年度予算額	対比増減
1. 一般会計	80,411,000	74,890,000	5,521,000
2. 特別会計	172,320,000	141,428,000	30,892,000
(1) 中小企業経営相談所会計	76,122,000	107,536,000	-31,414,000
(2) 退職給与積立金	2,400,000	2,280,000	120,000
(3) 特定退職金共済事業会計	3,725,000	4,410,000	-685,000
(4) 福祉共済事業会計	23,084,000	23,617,000	-533,000
(5) 広告施設管理運営会計	760,000	680,000	80,000
(6) 労働保険事務組合会計	2,490,000	2,905,000	-415,000
(7) 鯖江街なか賑わいプラン事業会計	22,344,000	0	22,344,000
(8) 鯖江市小規模企業経営支援機構設置事業会計	7,119,000	0	7,119,000
(9) 鯖江市ものづくり支援機構設置事業会計	27,482,000	0	27,482,000
(10) 市民等協働による市街地活性化推進事業会計	4,000,000	0	4,000,000
(11) まちづくりお助けスタッフ事業会計	2,794,000	0	2,794,000
合 計 (1 + 2)	252,731,000	216,318,000	36,413,000
会 計 間 移 動 分	27,676,000	21,561,000	6,115,000
差 引 予 算 総 額	225,055,000	194,757,000	30,298,000

新産業創出の事例研究として、県外新産業創出先進中小企業視察研修会や新産業に取組んでいる企業等の社長を招き勉強会を実施します。

また、産学官交流推進委員会では、技術相談窓口事業と連携協定大学・高専並びに武生商工会議所との交流事業やさん・さん交流会等の産学官連携関連事業等を開催し、大学・高専等との連携やその結びつきをさらに強め、既存産業の技術を活かした新たな分野への事業進出や、新商品の開発等を積極的に支援していきます。

福井高専と共催で、第7回「さばえめがねWakuコンテスト」を開催し、小中高・高専生等にものづくりの楽しさを伝え、柔軟な発想の新たな意匠による商品化を模索します。

「知的財産セミナー」(特許庁、近畿経済産業局主催)や「核燃料サイクル開発機構開放特許説明会」へ協力します。

地場産業の後継者づくりとして、定期的に大学生のインターンシップ受入

れと長期的に市内小学生に地場産業の見学と体験をさせ、理解者を増やし、後継者育成につなげます。

2、「人の集まるまち」実現に努めるまちづくり企画部による「鯖江街なか賑わいプラン」の実現

平成二十一年度新設した「まちづくり企画部」で、中心市街地がまちの元気度の評価になることから、商店街の個別実態調査を踏まえ、従来とは違った角度から根本的に見直し、「鯖江街なか賑わいプラン」の実現に努力します。

商店街等活性化事業として、街なか賑わいづくり振興交付金を活用し、賑わいづくりや商店街支援、商店街活性化基本計画策定、空き店舗対策、さばえ夢かたち推進委員会、市街地交流化と定住化、公共交通利用化、神明商店会・河和田優良店会支援等の事業を実施します。

鯖江市からの受託事業(ふるさと雇用)として、市民等協働による市街地

活性化推進活動事業で、まちづくり市民ワークショップやB級グルメ促進、北国街道アート展等の市民協働事業を実施します。

福井県からの受託事業(ふるさと雇用)として、まちづくりお助けスタッフ事業で、商店街の景況感調査・報告や商店街の販売促進等に係るイベント、鯖江地区商店街連合会が行う「つつじまつり・夏祭り・もみじまつり等」での連携イベント、本山誠照寺での誠市・商店街での緑市等の企画・運営補助、商店街のPR促進等の賑わいを創出する商店街事業の充実を図ります。

あわせて、人の集まるまち委員会や鯖江観光協会と連携して、歴史と文化のある観光資源「西山公園と嚮陽庭園」、「本山誠照寺」を活用します。

交流人口増に向け産業観光の推進「つつじまつり、誠市、緑市、もみじまつり等」に加え、めがね会館をリニューアルしオープンする「めがねミュージアム」、鯖江市資料館が増改築された「鯖江市まなへの館」、西山公

園結ひの広場」の三方所と石田錦展示実演場を充実させて、新たな観光スポットにします。

また、交流人口増に向け、広域連携し丹南地域と中部地方や関西地方、朝倉氏遺跡等と結びつけ、産業観光を積極的に展開します。

3、農商工連携による「食文化」の地域ブランド化

鯖江市やJA等と農商工連携について研究検討し、「食文化」の地域ブランド化によるまち起ごしのため、地元食材を活かし、ストーリー性を考えた、商品の開発等、地域振興に取り組みます。

商工業が主に利益を追求して経済的な活性化を図る視点に加えて、経済の活性化以外を目指す農と連携した「食」を取り入れた観光振興の視点を加えます。

4、産業のグローバル化にどのように対応すべきか検討する

国際化委員会の事業として、海外に進出している企業に海外市場の変化を発信してもらおう海外情勢の変化に関する講演会やジェット口福井による国際化関係の貿易実務講座と個別貿易相談を開催します。

また、会報でタイムリーな海外の情報を発信し、産業のグローバル化に対応します。

5、商工会議所としての意見を行政等に具申する

商工会議所は地域総合経済団体として、商工業の総合的な改善発達を図る役目を担っています。商工会議所事業の基本に立ち返り、地域総合経済団体としての立場から、景気対策、産業基盤整備、道路網整備、人口問題、観光振興等の当地域が抱える諸問題や商工業の振興策、その他経済問題全般について、部会または委員会等において意見をとりまとめ、国・県・市等関係諸機関に対し、積極的な意見・具申・建議・要望活動を展開します。

鯖江市ものづくり支援機構を設置

四月一日より、市内のものづくり産業に対して新産業の創出や新商品の開発、既存産業の技術を活かした新たな分野への事業進出を積極的に支援するため、鯖江市の業務委託をうけて、鯖江市ものづくり支援機構を設置します。同機構は、窓口を鯖江商工会議所二階に置き、ものづくり支援に関して経験豊富な専門家を常駐し相談に対応します。

また、従来の「ものづくり支援補助金」を拡充(予算を一七〇〇万円に増額)し、新たに「チャレンジ企業応援補助金」と改め、当機構の目玉事業と位置づけられます。新商品開発



松尾専門委員(右)と加藤専務
また、採択案件については、進捗状況の確認や事業の方向性におけるアドバイス・専門家斡旋等も行い、強力に支援してま

や新技術開発、新事業創出・業種転換、特許・実用新案権の取得、意匠・商標登録に対して、これらにかかる経費の二分の一を補助し資金面で支援を行います。補助助金の申請手続きなどもお手伝いいたします。

問合せ先
鯖江市ものづくり支援機構
鯖江市本町三ノ二ノ十一
鯖江商工会議所内
電話：〇七七八ノ五ノ九〇〇(直通)
FAX：〇七七八ノ五ノ八二一
E-mail: info@sabaecci.or.jp
担当：水野

相談は無料、秘密を厳守します。



~新しい「出会いの旅」を求めて~
鯖江高速観光バス(株)
観光は ミゴロニ
☎(0778)62-3562
貸切バス
団体旅行・視察研修旅行
冠婚葬祭などの送迎に!
本社営業所
〒916-0074鯖江市上野田町4-1-1
TEL(0778)62-3562 FAX(0778)62-3563

税務全般 / 経営診断 / 社保年金
税理士法人 川中経営
代表社員 税理士 川中 洋一
税理士 川中 重司 ITコーディネータ
税理士 川中 清司 中小企業診断士
社会保険労務士 川中 洋子 社会保険労務士
鯖江市本町4丁目10-7(商工会館北)
電話0778-51-0600 URL http://www.kawanaka-keiei.jp

OA機器・オフィス家具
文房具・日用雑貨・結納
めがね文具マン
Glasses stationery man
PR 私、めがね文具マンは鯖江で誕生しました。だからこそ心がなくなるその時までこの鯖江に密着した活動を頑張っていきます。よろしくお願致します。
TEL : (0778) 51-2430
FAX : (0778) 52-8943
http://www.2430bungu.co.jp/
E-mail: info@2430bungu.co.jp